



不正薬物の押収量2年連続1.5トン超え

～令和6年の東京税関における関税法違反事件の取締り状況～

東京税関が令和6年に摘発した不正薬物は、摘発件数306件（前年比約20%減）/約1,528kg（同約27%減）であった。

【薬種別内訳】

覚醒剤87件（同約55%減）/約1,141kg（同約36%減）

大麻101件（同約2.1倍）/約190kg（同約1.5倍）

麻薬93件（同約19%減）/約194kg（同約1.1倍）及び約1万錠（同約64%減）

向精神薬1件（前年同数）/5錠（前年比約44%減）

指定薬物24件（同約4%減）/約2kg（同約1.3倍）

金地金の摘発件数は319件（同約2.6倍）、押収量は約476kg（同約2.9倍）であった。

【主な特徴】

- ◆ 不正薬物の押収量が1.5トンを超え、過去3番目を記録
- ◆ 覚醒剤の大口事犯を複数摘発
- ◆ 大麻の摘発件数・押収量が過去5年間で最多
- ◆ 金地金の摘発件数が過去4番目を記録
- ◆ 金地金の摘発件数・押収量が過去5年間で最多

（※）不正薬物とは、覚醒剤、大麻、あへん、麻薬（コカイン、MDMA等）、向精神薬及び指定薬物をいう。

（※）令和6年は速報値のため、重量等未確定につき含まれないものがある。

（※）大麻には、令和6年12月12日に施行された大麻取締法及び麻薬向精神薬取締法の一部を改正する法律における、麻薬である大麻及びTHC類製品を含む。

社会悪物品の摘発実績

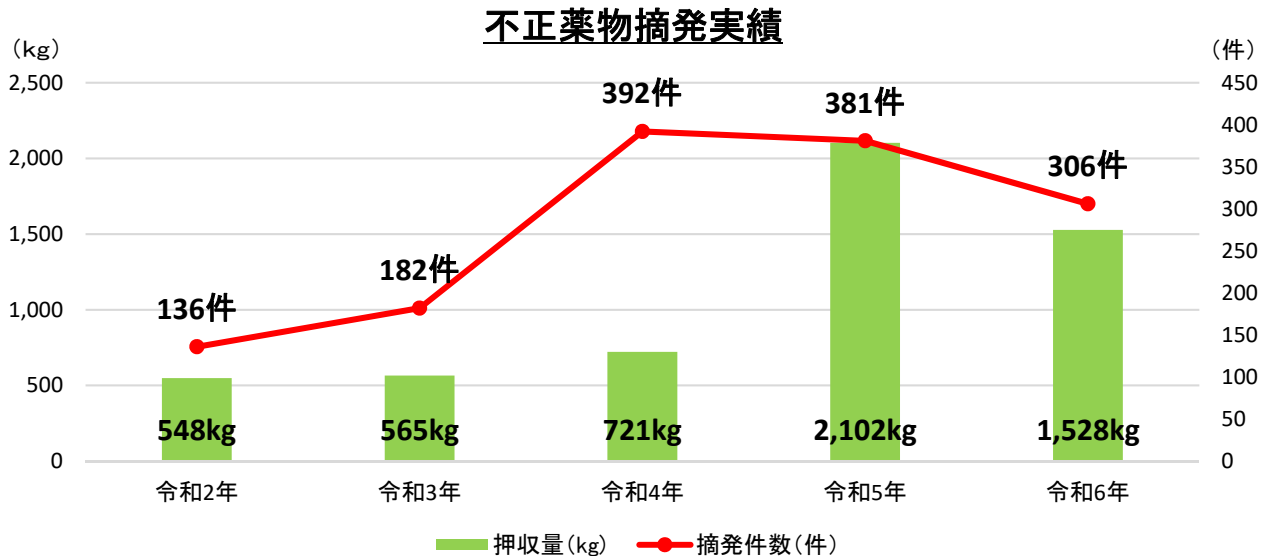
年		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	前年比
種類							
覚醒剤	件	35	62	204	192	87	45%
	kg	473	452	502	1,795	1,141	64%
大 麻	件	43	51	46	48	101	210%
	kg	58	69	106	130	190	146%
	大麻草	7	27	17	28	64	229%
	kg	3	10	7	80	128	160%
	大麻樹脂等	36	24	29	20	37	185%
	kg	55	59	99	51	62	123%
あへん	件	0	1	0	0	0	-
	kg	-	4	-	-	-	-
麻薬	件	31	44	100	115	93	81%
	kg	15	38	108	175	194	111%
	千錠	37	21	11	29	10	36%
	ヘロイン	0	0	0	0	1	全増
	kg	-	-	-	-	0	全増
	コカイン	11	14	17	53	29	55%
	kg	15	9	22	65	47	72%
	MDMA等	15	14	39	28	35	125%
	kg	0	17	59	70	118	169%
	千錠	37	21	11	29	10	36%
	ケタミン	5	13	39	24	21	88%
	kg	0	12	27	39	28	72%
	その他麻薬	0	3	5	10	7	70%
	kg	-	0	0	1	0	65%
	千錠	-	0	-	-	-	-
	向精神薬	0	1	6	1	1	100%
	kg	-	0	0	-	-	-
	千錠	-	-	1	0	0	56%
指定薬物	件	27	23	36	25	24	96%
	kg	1	2	4	2	2	125%
合計	件	136	182	392	381	306	80%
	kg	548	565	721	2,102	1,528	73%
	千錠	37	21	11	29	10	36%

銃砲	件	0	0	1	0	0	-
	丁	-	-	1	-	-	-
うち拳銃	件	0	0	1	0	0	-
	丁	-	-	1	-	-	-
拳銃部品	件	0	0	0	0	0	-
	点	-	-	-	-	-	-

- (注) 1. 税関が摘発した密輸入事犯の他、警察等他機関が摘発した事件で、税関が当該事件に関与したものを含む。
2. 覚醒剤は、覚醒剤及び覚せい剤原料の合計を示す。
3. 大麻草は、令和6年12月12日に施行された大麻取締法及び麻薬向精神薬取締法の一部を改正する法律における、麻薬である大麻も含む。
4. 大麻樹脂等は、大麻樹脂、大麻リキッド、大麻菓子のほか、令和6年12月12日に施行された大麻取締法及び麻薬向精神薬取締法の一部を改正する法律における麻薬であるTHC類製品も含む。THC類製品とは、大麻の有害成分であるTHC類（テトラヒドロカンナビノール類）を含有する液体、菓子をいう。
5. MDMA等は、MDMA、MDA及びMDEの合計を示す。
6. その他麻薬には、LSD等が含まれる。
7. 端数処理のため数値が合わないことがある。
8. 数量の表記について、「0」とは500gまたは500錠未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。
9. 令和6年の数値は速報値である。

1 不正薬物摘発実績

- 摘発件数は306件（前年比約20%減）、押収量は約1,528kg（同約27%減）であり、令和5年の約2.1トン、令和元年の約1.9トンに次いで、過去3番目を記録した。
- 薬種別では、摘発件数は大麻101件が全体の約33%と最多であり、押収量は覚醒剤約1,141kgが全体の約75%と最多であった。



- 航空機旅客からの摘発件数は112件（前年比約33%減）、押収量は約470kg（同約23%減）であり、共に減少した。
- 商業貨物からの摘発件数は89件（同約18%減）、押収量は約921kg（同約34%減）であり、共に減少した。
- 国際郵便物からの摘発件数は105件（同約1%減）と減少したが、押収量は約136kg（同約1.3倍）と増加した。

形態別不正薬物摘発実績（摘発件数／押収量）

	令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年	
	件	kg	件	kg	件	kg	件	kg	件	kg
航空機旅客	33	36	20	51	71	132	166	613	112	470
羽田空港	9	3	9	7	15	28	45	160	55	240
成田空港	24	33	11	45	56	104	121	454	57	231
商業貨物	64	487	82	442	136	405	109	1,388	89	921
海上貨物	2	352	3	154	0	-	4	833	3	477
航空貨物	62	135	79	288	136	405	105	554	86	444
国際郵便物	39	25	80	71	185	185	106	101	105	136
船舶乗組員等	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
合計	136	548	182	565	392	721	381	2,102	306	1,528

（注1）令和6年については速報値である。

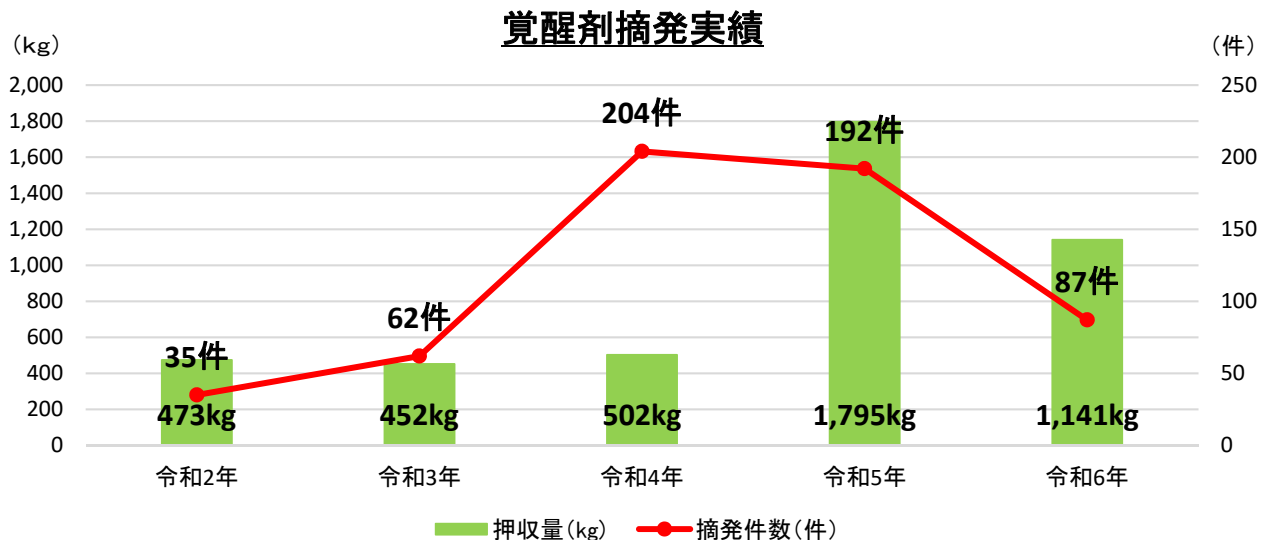
（注2）数量の表記について、「0」とは500g未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。

（注3）端数処理のため、数値が合わないことがある。

2 薬種別摘発実績

(1) 覚醒剤

- 摘発件数は87件（前年比約55%減）、押収量は約1,141kg（同約36%減）であり、共に減少した（薬物乱用者の通常使用量で約3,804万回分、末端価格にして約753億円に相当）。



① 形態別

- 航空機旅客からの摘発件数は39件（前年比約53%減）、押収量は約265kg（同約32%減）であり、共に減少した。
- 商業貨物からの摘発件数は37件（同約51%減）、押収量は約864kg（同約36%減）であり、共に減少した。
- 国際郵便物からの摘発件数は11件（同約75%減）、押収量は約12kg（同約79%減）であり、共に減少した。

形態別覚醒剤摘発実績

（摘発件数／押収量）

	令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年	
	件	kg	件	kg	件	kg	件	kg	件	kg
航空機旅客	12	24	3	35	41	107	73	390	39	265
羽田空港	3	3	1	0	9	23	14	100	16	111
成田空港	9	21	2	34	32	84	59	291	23	154
商業貨物	15	437	43	383	90	296	75	1,347	37	864
海上貨物	2	352	3	154	0	-	4	833	2	477
航空貨物	13	85	40	229	90	296	71	514	35	387
国際郵便物	8	13	16	34	73	99	44	58	11	12
船舶乗組員等	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
合計	35	473	62	452	204	502	192	1,795	87	1,141

（注1）令和6年については速報値である。

（注2）数量の表記について、「0」とは500g未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。

（注3）端数処理のため、数値が合わないことがある。

② 仕出地

- 仕出地別の摘発件数は、北米仕出し43件が全体の約49%で最多であり、次いでアジア仕出し20件が全体の約23%であった。
- 仕出地別の押収量は、北米仕出し約555kgが全体の約49%で最多であり、次いで中南米仕出し約437kgが全体の約38%であった。

仕出地別覚醒剤摘発実績 (摘発件数、押収量／構成比)

		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年	
アジア	件	16	46%	25	40%	65	32%	32	17%	20	23%
	kg	133	28%	287	64%	107	21%	62	3%	106	9%
アフリカ	件	3	9%	5	8%	27	13%	12	6%	0	-
	kg	21	4%	22	5%	68	13%	27	1%	-	-
欧州	件	3	9%	12	19%	20	10%	18	9%	8	9%
	kg	7	1%	21	5%	54	11%	44	2%	39	3%
中東	件	4	11%	3	5%	19	9%	21	11%	2	2%
	kg	20	4%	44	10%	117	23%	845	47%	4	0%
中南米	件	4	11%	5	8%	12	6%	29	15%	14	16%
	kg	48	10%	10	2%	28	6%	311	17%	437	38%
北米	件	5	14%	12	19%	61	30%	79	41%	43	49%
	kg	245	52%	68	15%	129	26%	507	28%	555	49%
不明	件	0	-	0	-	0	-	1	1%	0	-
	kg	-	-	-	-	-	-	0	0%	-	-
合計	件	35	100%	62	100%	204	100%	192	100%	87	100%
	kg	473	100%	452	100%	502	100%	1,795	100%	1,141	100%

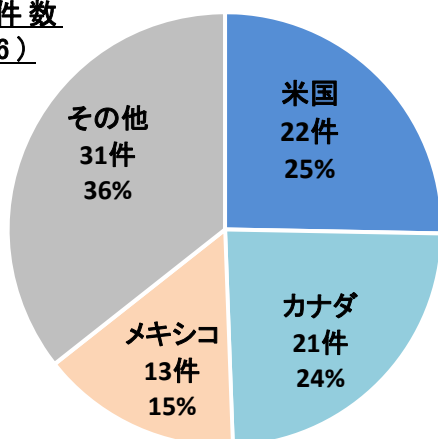
(注1) 令和6年については速報値である。

(注2) 数量の表記について、「0」とは500g未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。

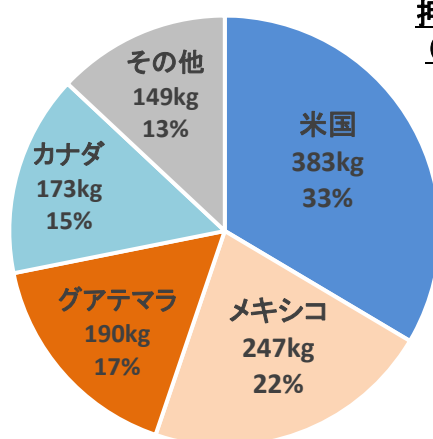
(注3) 端数処理のため、数値が合わないことがある。

仕出国別覚醒剤摘発実績

摘発件数
(R6)



押収量
(R6)



【主な摘発事例】

事例1【メキシコ来海上貨物】

➤ ギアボックス内に隠匿された覚醒剤約156.0kgを摘発

(令和6年4月 東京税関本関摘発)



事例2【グアテマラ来航空貨物】

➤ 貯湯タンクに隠匿された覚醒剤約190.0kgを摘発

(令和6年8月 成田航空貨物出張所摘発)



【主な摘発事例】

事例3【カナダ来国際郵便物】

➤ メープルシロップの瓶から**覚醒剤が溶かされた液状物**約1.3kgを摘発

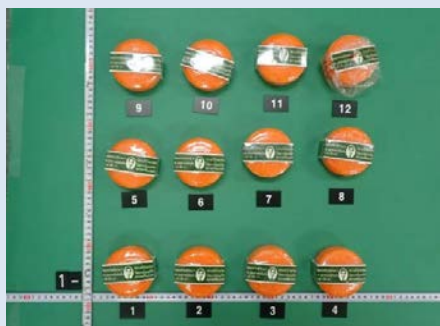
(令和6年1月 東京外郵出張所摘発)



事例4【タイ来国際郵便物】

➤ 石鹼に練りこませた**覚醒剤**約2.2kgを摘発

(令和6年6月 東京外郵出張所摘発)



【主な摘発事例】

事例5【マレーシア来航空貨物】

➤ ウェットティッシュに染み込ませた**覚醒剤約4.2kg**を摘発

(令和6年11月 東京税関本関摘発)



事例6【アメリカ来航空機旅客】

➤ スーツケースに収納のコーヒー袋に隠匿された**覚醒剤約12.0kg**を摘発

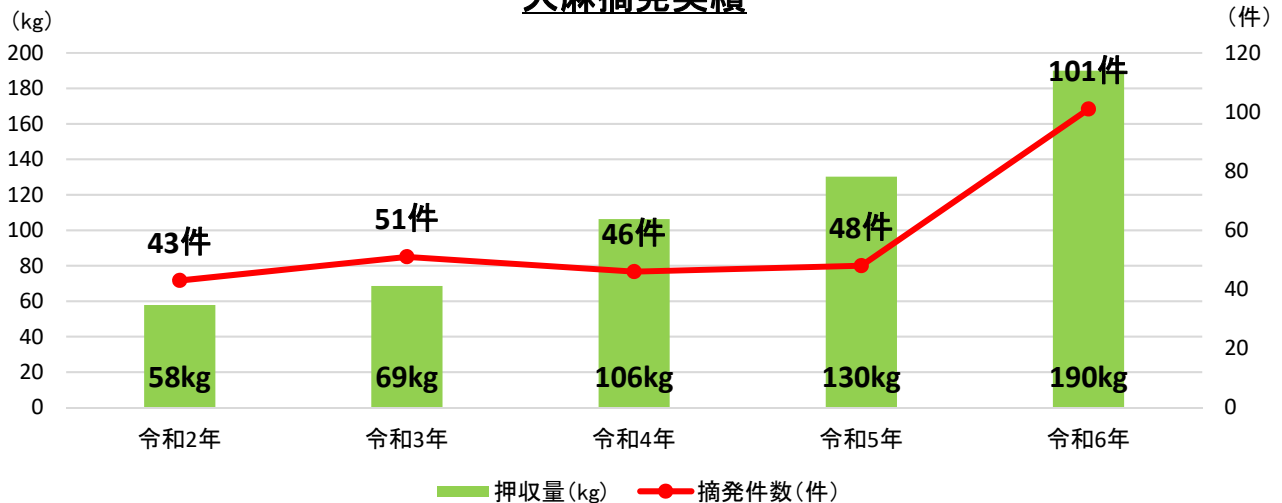
(令和6年7月 羽田税関支署摘発)



(2) 大麻

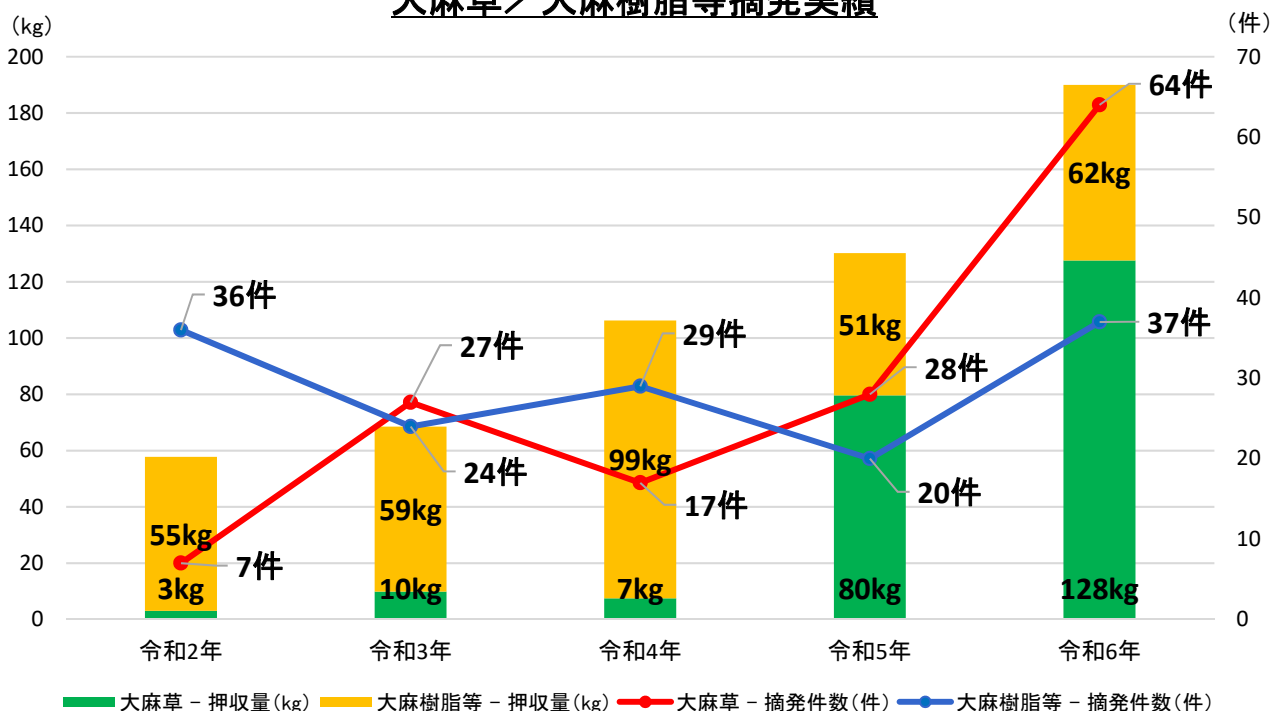
- 大麻（大麻草、大麻樹脂等（大麻樹脂のほか、大麻リキッド・大麻菓子等の大麻製品を含む））の摘発件数は101件（前年比約2.1倍）、押収量は約190kg（同約1.5倍）であり、共に増加した（薬物乱用者の通常使用量で約88万回分、末端価格にして約13億円に相当）。

大麻摘発実績



- 大麻草の摘発件数は64件（前年比約2.3倍）、押収量は約128kg（同約1.6倍）であり、共に増加した（薬物乱用者の通常使用量で約26万回分、末端価格にして約6億円に相当）。
- 大麻樹脂等の摘発件数は37件（同約1.9倍）、押収量は約62kg（同約1.2倍）であり、共に増加した（薬物乱用者の通常使用量で約62万回分、末端価格にして約6億円に相当）。

大麻草／大麻樹脂等摘発実績



① 形態別

- 航空機旅客からの摘発件数は28件（前年比約10%減）、押収量は約54kg（同約51%減）と、共に減少した。
- 商業貨物からの摘発件数は20件（同2.0倍）、押収量は約27kg（同約6.2倍）であり、共に増加した。
- 国際郵便物からの摘発件数は53件（同約7.6倍）、押収量は約108kg（同約6.9倍）であり、共に増加した。

形態別大麻摘発実績

（摘発件数／押収量）

	令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年	
	件	kg	件	kg	件	kg	件	kg	件	kg
航空機旅客	10	0	6	10	13	0	31	110	28	54
羽田空港	2	0	3	0	3	0	10	0	13	13
成田空港	8	0	3	10	10	0	21	110	15	41
商業貨物	26	48	20	34	21	84	10	4	20	27
海上貨物	0	-	0	-	0	-	0	-	1	0
航空貨物	26	48	20	34	21	84	10	4	19	27
国際郵便物	7	10	25	25	12	22	7	16	53	108
船舶乗組員等	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
合計	43	58	51	69	46	106	48	130	101	190

（注1）令和6年については速報値である。

（注2）数量の表記について、「0」とは500g未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。

（注3）端数処理のため、数値が合わないことがある。

- 大麻草の商業貨物からの摘発件数は8件（前年比約1.3倍）、押収量は約17kg（同約11.4倍）であり、押収量が大幅に増加した。
- 大麻草の国際郵便物からの摘発件数は42件（同約10.5倍）、押収量は約82kg（同約180.0倍）であり、共に大幅に増加した。

形態別大麻草／大麻樹脂等摘発実績

（摘発件数／押収量）

	令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年	
	件	kg	件	kg	件	kg	件	kg	件	kg
航空機旅客	10	0	6	10	13	0	31	110	28	54
大麻草	4	0	1	0	8	0	18	78	14	29
大麻樹脂等	6	0	5	10	5	0	13	32	14	25
商業貨物	26	48	20	34	21	84	10	4	20	27
大麻草	2	3	9	2	2	0	6	1	8	17
大麻樹脂等	24	45	11	32	19	83	4	3	12	10
国際郵便物	7	10	25	25	12	22	7	16	53	108
大麻草	1	0	17	8	7	7	4	0	42	82
大麻樹脂等	6	10	8	17	5	15	3	15	11	27

（注1）令和6年については速報値である。

（注2）数量の表記について、「0」とは500g未満の場合を示す。

（注3）端数処理のため、数値が合わないことがある。

② 仕出地

- ▶ アジア仕出しの摘発件数は69件で全体の約68%、押収量は約152kgで全体の約80%と、共に最多であり、次いで北米仕出しの摘発件数は21件で全体の約21%、押収量は約24kgで全体の約13%であった。

仕出地別大麻摘発実績

(摘発件数、押収量／構成比)

		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年	
アジア	件	1	2%	5	10%	13	28%	13	27%	69	68%
	kg	3	5%	4	6%	23	22%	16	12%	152	80%
アフリカ	件	0	-	2	4%	0	-	1	2%	0	-
	kg	-	-	2	3%	-	-	0	0%	-	-
オセアニア	件	0	-	0	-	0	-	0	-	1	1%
	kg	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0%
欧州	件	0	-	4	8%	2	4%	4	8%	3	3%
	kg	-	-	1	1%	0	0%	38.43	0%	7	4%
中東	件	0	-	0	-	1	2%	0	-	0	-
	kg	-	-	-	-	0	0%	-	-	-	-
中南米	件	0	-	0	-	1	2%	0	-	0	-
	kg	-	-	-	-	0	0%	-	-	-	-
北米	件	42	98%	39	76%	27	59%	26	54%	21	21%
	kg	55	95%	62	90%	83	78%	114	88%	24	13%
不明	件	0	-	1	2%	2	4%	4	8%	7	7%
	kg	-	-	0	0%	0	0%	0	0%	6	3%
合計	件	43	100%	51	100%	46	100%	48	100%	101	100%
	kg	58	100%	69	100%	106	100%	130	100%	190	100%

(注1) 令和6年については速報値である。

(注2) 数量の表記について、「0」とは500g未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。

(注3) 端数処理のため、数値が合わないことがある。

仕出国別大麻摘発実績(令和6年)

【大麻草】

国名	摘発件数、押収量		構成比
タイ	件	36	56%
	kg	101	79%
ベトナム	件	11	17%
	kg	18	14%
不明	件	4	6%
	kg	6	5%
ラオス	件	2	3%
	kg	2	2%
その他	件	11	17%
	kg	0	0%
合計	件	64	100%
	kg	128	100%

【大麻樹脂等】

国名	摘発件数、押収量		構成比
ベトナム	件	4	11%
	kg	23	36%
米国	件	14	38%
	kg	21	34%
タイ	件	12	32%
	kg	8	13%
ドイツ	件	2	5%
	kg	7	12%
その他	件	5	14%
	kg	3	5%
合計	件	37	100%
	kg	62	100%

(注1) 令和6年については速報値である。

(注2) 数量の表記について、「0」とは500g未満の場合を示す。

(注3) 端数処理のため、数値が合わないことがある。

【主な摘発事例】

事例1【タイ来国際郵便物】

➤ 野菜チップスの袋に隠匿された**大麻草約2.0kg**を摘発

(令和6年2月 東京外郵出張所摘発)



事例2【ベトナム来国際郵便物】

➤ 乾燥食品の袋に隠匿された**大麻草約4.7kg**を摘発

(令和6年9月 東京外郵出張所摘発)



【主な摘発事例】

事例3 【ベトナム来国際郵便物】

➤ 缶詰内に隠匿された大麻を含有する液状物約4.2kgを摘発

(令和6年6月 東京外郵出張所摘発)



事例4 【ドイツ来航空機旅客】

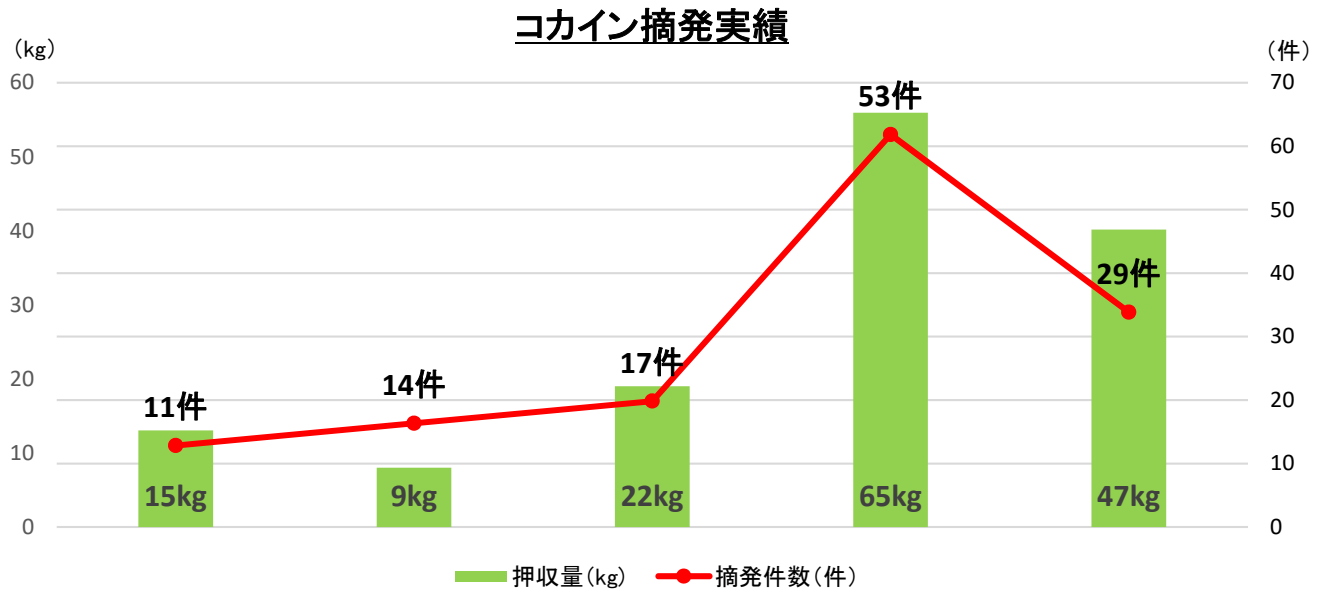
➤ スーツケースに収納の菓子袋内に隠匿された大麻樹脂約7.3kgを摘発

(令和6年8月 羽田税関支署摘発)



(3) コカイン

- コカインの摘発件数は29件（前年比約45%減）、押収量は約47kg（同約28%減）であり、共に減少した（薬物乱用者の通常使用量で約16万回分、末端価格にして約12億円に相当）。



① 形態別

- 形態別では、航空機旅客からの摘発件数が21件、押収量が約43kgであり最多であった。
- 航空機旅客からの摘発のうち、12件の隠匿手口が嚥下隠匿であった。

形態別コカイン摘発実績 （摘発件数／押収量）

	令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年	
	件	kg	件	kg	件	kg	件	kg	件	kg
航空機旅客	7	12	3	2	9	20	42	54	21	43
羽田空港	1	1	1	2	1	1	9	7	9	25
成田空港	6	11	2	0	8	19	33	47	12	18
商業貨物	2	2	6	4	2	1	4	6	5	3
海上貨物	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
航空貨物	2	2	6	4	2	1	4	6	5	3
国際郵便物	2	2	5	3	6	2	7	5	3	1
船舶乗組員等	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
合計	11	15	14	9	17	22	53	65	29	47

（注1）令和6年については速報値である。

（注2）数量の表記について、「0」とは500g未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。

（注3）端数処理のため、数値が合わないことがある。

② 仕出地

➤ 仕出地別では、摘発件数は中南米仕出の13件が最多であり、押収量は北米仕出しの約27kgが最多であった。

仕出地別コカイン摘発実績 (摘発件数、押収量／構成比)

		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年	
アジア	件	2	18%	1	7%	0	-	3	6%	2	7%
	kg	2	11%	1	7%	-	-	2	2%	0	0%
中東	件	0	-	0	-	1	6%	0	-	1	3%
	kg	-	-	-	-	2	9%	-	-	2	5%
アフリカ	件	0	-	0	-	1	6%	3	6%	2	7%
	kg	-	-	-	-	1	7%	2	3%	1	3%
欧州	件	2	18%	4	29%	2	12%	15	28%	3	10%
	kg	1	4%	2	17%	1	5%	13	19%	1	1%
北米	件	1	9%	3	21%	1	6%	3	6%	7	24%
	kg	0	0%	0	1%	0	0%	2	3%	27	58%
中南米	件	6	55%	6	43%	12	71%	29	55%	13	45%
	kg	13	85%	7	75%	17	79%	47	72%	15	33%
日本	件	0	-	0	-	0	-	0	-	1	3%
	kg	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0%
合計	件	11	100%	14	100%	17	100%	53	100%	29	100%
	kg	15	100%	9	100%	22	100%	65	100%	47	100%

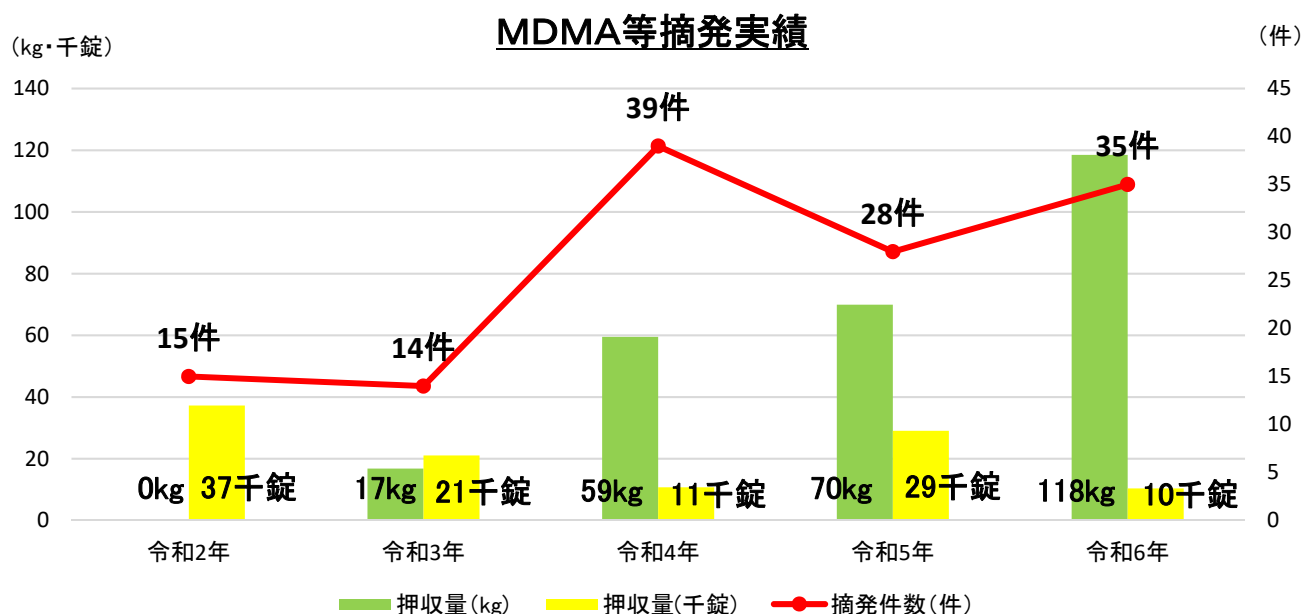
(注1) 令和6年については速報値である。

(注2) 数量の表記について、「0」とは500g未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。

(注3) 端数処理のため、数値が合わないことがある。

(4) MDMA等

➤ MDMA等の摘発件数は35件（前年比約1.3倍）、押収量は約118kg（同1.7倍）及び約10千錠（同約64%減）であった。



① 形態別

- 形態別では、航空機旅客からの摘発件数が15件、押収量が約91kg及び約10千錠であり、最多であった。

形態別MDMA等摘発実績（摘発件数／押収量）

	令和2年			令和3年			令和4年			令和5年			令和6年		
	件	kg	千錠	件	kg	千錠	件	kg	千錠	件	kg	千錠	件	kg	千錠
航空機旅客	2	0	0	2	0	0	4	4	2	11	48	26	15	91	10
羽田空港	2	0	0	1	0	-	2	4	-	6	42	-	12	79	-
成田空港	0	-	-	1	-	0	2	-	2	5	6	26	3	12	10
商業貨物	9	0	27	7	13	16	7	9	1	5	15	-	14	21	-
海上貨物	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-
航空貨物	9	0	27	7	13	16	7	9	1	5	15	-	14	21	-
国際郵便物	4	0	10	5	4	5	28	47	7	12	7	3	6	7	-
船舶乗組員等	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-
合計	15	0	37	14	17	21	39	59	11	28	70	29	35	118	10

(注1) 令和6年については速報値である。

(注2) 数量の表記について、「0」とは500g未満または500錠未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。

(注3) 端数処理のため、数値が合わないことがある。

② 仕出地

- 仕出地別では、欧州からの摘発件数が26件、押収量が約91kg及び約10千錠であり、最多であった。

仕出地別MDMA等摘発実績（摘発件数、押収量／構成比）

		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年	
		件	kg	件	kg	件	kg	件	kg	件	kg
アジア	件	6	40%	2	14%	16	41%	6	21%	4	11%
	kg	-	-	0	1%	2	3%	1	1%	0	0%
	千錠	2	6%	0	1%	4	37%	0	0%	0	0%
中東	件	0	-	1	7%	0	-	0	-	2	6%
	kg	-	-	4	23%	-	-	-	-	22	19%
	千錠	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
欧州	件	8	53%	10	71%	20	51%	15	54%	26	74%
	kg	0	98%	13	76%	55	93%	31	44%	94	79%
	千錠	35	94%	21	99%	7	63%	29	100%	10	100%
北米	件	1	7%	1	7%	2	5%	6	21%	3	9%
	kg	0	2%	-	-	3	5%	38	55%	2	2%
	千錠	-	-	0	0%	-	-	8	0%	-	-
中南米	件	0	-	0	-	1	3%	1	4%	0	-
	kg	-	-	-	-	9.04	0%	48.53	0%	-	-
	千錠	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	件	15	100%	14	100%	39	100%	28	100%	35	100%
	kg	0	100%	17	100%	59	100%	70	100%	118	100%
	千錠	37	100%	21	100%	11	100%	29	100%	10	100%

(注1) 令和6年については速報値である。

(注2) 数量の表記について、「0」とは500g未満または500錠未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。

(注3) 端数処理のため、数値が合わないことがある。

【主な摘発事例】

事例1【ブラジル来航空機旅客】

➤ 嚥下隠匿された**コカイン165個**を摘発

(令和6年12月 羽田税関支署摘発)



事例2【アメリカ来航空機旅客】

➤ スーツケースに収納の衣類に包んで隠匿された**コカイン約5.0kg**を摘発

(令和6年6月 羽田税関支署摘発)



【主な摘発事例】

事例3【カタール来航空機旅客】

➤ ラム酒の瓶から液状物に溶かされたコカイン約2.3kgを摘発

(令和6年5月 羽田税関支署摘発)



事例4【イギリス来航空機旅客】

➤ スーツケースに収納の青色バッグに隠匿されたMDMA約3.8kg及びケタミン12.0kgを摘発

(令和6年11月 羽田税関支署摘発)



MDMA(青色錠剤)及びケタミン(白色粉末)



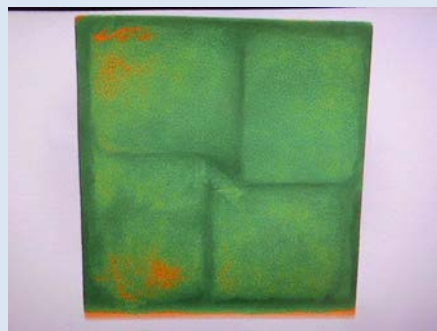
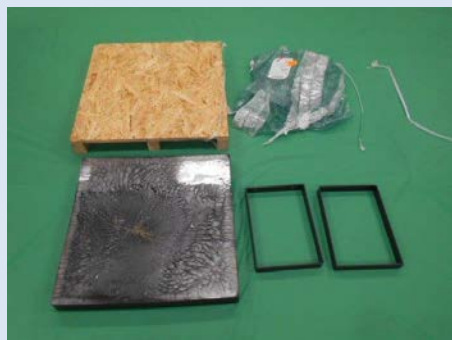
ケタミン(白色粉末)

【主な摘発事例】

事例5【ベルギー来航空貨物】

➤ テーブル天板内に隠匿された**MDMA**約**7.6kg**を摘発

(令和6年8月 東京税関本関摘発)



事例6【オランダ来航空貨物】

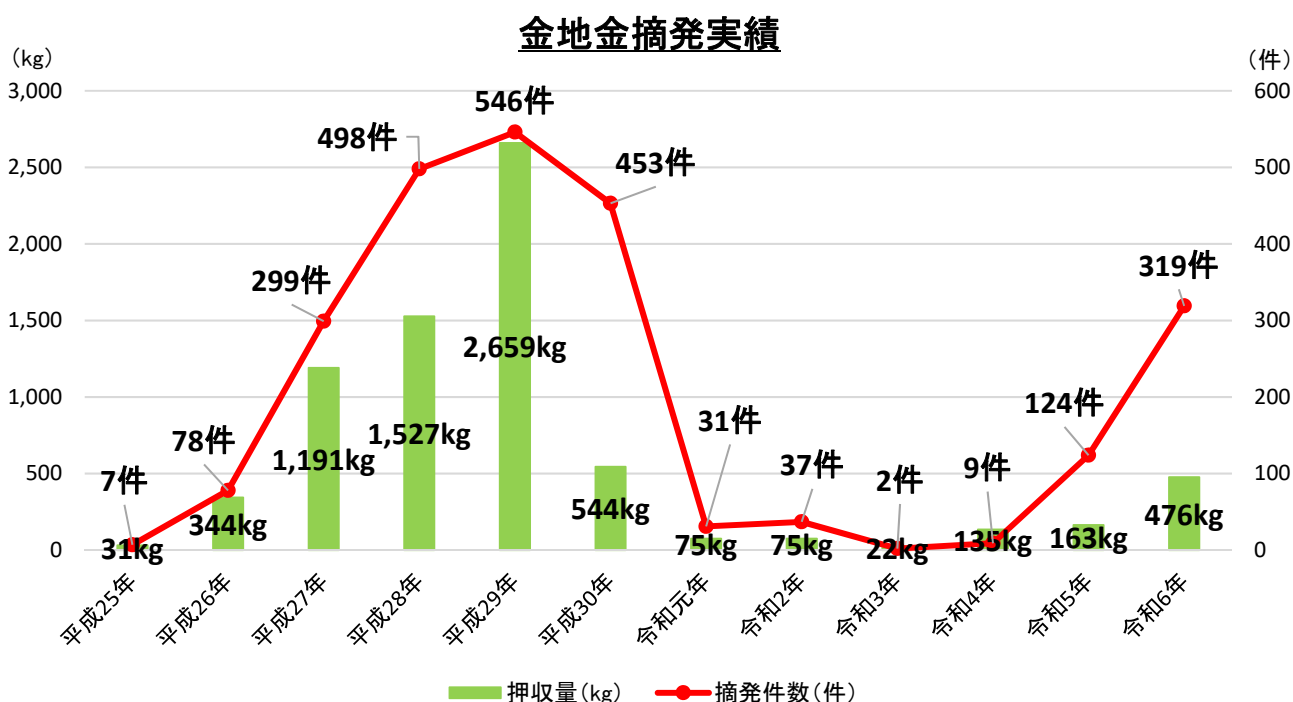
➤ ロールカーテンの支柱内に隠匿された**MDMA**約**3.0kg**を摘発

(令和6年5月 東京税関本関摘発)



3 金地金摘発実績

- ▶ 金地金の摘発件数は319件（前年比約2.6倍）であり、過去4番目を記録した。
- ▶ 金地金の押収量は約476kg（同約2.9倍）であった。



① 形態別

- ▶ 航空機旅客からの摘発件数は289件（前年比約2.5倍）、押収量は約365kg（同約3.9倍）であり、共に増加した。
- ▶ 商業貨物からの摘発件数は20件（同約3.3倍）、押収量は約106kg（同約1.6倍）であり、共に増加した。
- ▶ 国際郵便物からの摘発件数は10件（同約3.3倍）、押収量は約5kg（同約4.1倍）であり、共に増加した。

形態別金地金摘発実績

（摘発件数／押収量）

	令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年	
	件	kg	件	kg	件	kg	件	kg	件	kg
航空機旅客	20	15	0	-	2	107	115	94	289	365
羽田空港	8	7	0	-	1	105	12	18	78	108
成田空港	12	8	0	-	1	2	103	76	211	257
商業貨物	13	58	2	22	3	24	6	68	20	106
海上貨物	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
航空貨物	13	58	2	22	3	24	6	68	20	106
国際郵便物	4	2	0	-	4	3	3	1	10	5
船舶乗組員等	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
合計	37	75	2	22	9	135	124	163	319	476

（注1）令和6年については速報値である。

（注2）数量の表記について、「-」とは全く無い場合を示す。

（注3）端数処理のため、数値が合わないことがある。

② 仕出地

- ▶ 香港仕出しの摘発件数は223件で全体の約70%、押収量は約340kgで全体の約71%と、共に最多であった。

仕出地別金地金摘発実績

(摘発件数／押収量)

	令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年	
	件	kg	件	kg	件	kg	件	kg	件	kg
香港	5	52	0	-	3	24	12	68	223	340
中国	10	10	2	22	1	2	3	2	39	48
シンガポール	1	1	0	-	0	-	1	15	14	39
韓国	8	6	0	-	0	-	22	13	13	18
マレーシア	0	-	0	-	0	-	5	9	2	12
台湾	13	7	0	-	3	1	37	21	19	11
マカオ	0	-	0	-	0	-	0	-	3	4
タイ	0	-	0	-	1	105	1	12	3	2
ベトナム	0	-	0	-	1	2	43	23	3	1
合計	37	75	2	22	9	135	124	163	319	476

(注1) 令和6年については速報値である。

(注2) 数量の表記について、「-」とは全く無い場合を示す。

(注3) 端数処理のため、数値が合わないことがある。

③ 国籍

- ▶ 航空機旅客の摘発のうち、中国国籍の摘発件数は135件で全体の約47%、押収量は約159kgで全体の約44%と、共に最多であった。

国籍別金地金摘発実績

(摘発件数／押収量)

	令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年	
	件	kg	件	kg	件	kg	件	kg	件	kg
中国	2	2	0	-	0	-	7	11	135	159
香港	2	4	0	-	0	-	1	2	93	97
日本	1	1	0	-	0	-	0	-	13	29
マレーシア	0	-	0	-	0	-	6	10	6	28
マカオ	0	-	0	-	0	-	0	-	8	14
シンガポール	1	1	0	-	0	-	0	-	6	13
インド	0	-	0	-	0	-	0	-	4	11
台湾	8	4	0	-	0	-	34	21	18	11
韓国	6	4	0	-	0	-	22	13	1	2
タイ	0	-	0	-	0	-	1	12	2	1
ベトナム	0	-	0	-	1	2	43	22	3	1
米国	0	-	0	-	1	105	0	-	0	-
不詳	0	-	0	-	0	-	1	3	0	-
合計	20	15	0	-	2	107	115	94	289	365

(注1) 令和6年については速報値である。

(注2) 数量の表記について、「-」とは全く無い場合を示す。

(注3) 端数処理のため、数値が合わないことがある。

【主な摘発事例】

事例1【香港来航空機旅客】

- 着用していたコルセット内に隠匿された**金約18.0kg**を摘発
(令和6年2月 羽田税関支署摘発)



事例2【香港来航空機旅客】

- ブレスレット及びペンダントトップに加工された**金**、携帯電話ケース内に隠匿された**金約1.0kg**を摘発
(令和6年4月 羽田税関支署摘発)

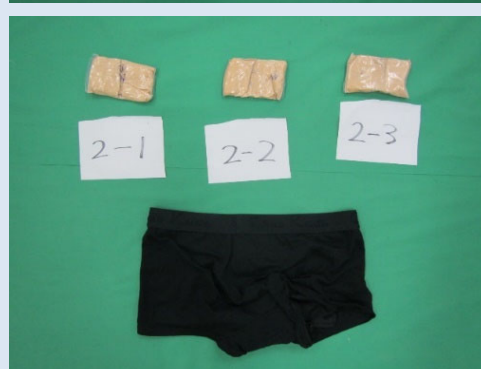


【主な摘発事例】

事例3【香港来航空機旅客】

➤ 着用していた下着内に隠匿された**粉末状の金約2.5kg**を摘発

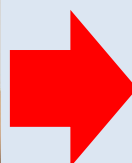
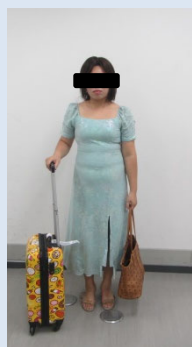
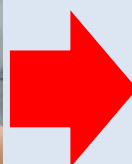
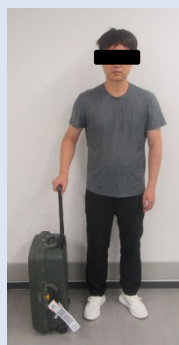
(令和6年7月 羽田税関支署摘発)



事例4【香港来航空機旅客】

➤ 着用していたカツラ内に隠匿された**粉末状の金約2.6kg**を摘発

(令和6年9月 羽田税関支署摘発)



【主な摘発事例】

事例5【香港来航空貨物】

➤ ICチップに偽装隠匿された**金約20.0kg**を摘発

(令和6年2月 東京税関本関摘発)



事例6【香港来航空貨物】

➤ 水中ポンプのモーターに隠匿された**金約1.9kg**を摘発

(令和6年5月 東京税関本関摘発)



4 知的財産侵害物品

- 知的財産侵害物品の摘発件数は13件であり、バッグ、衣類等であった。
- 仕出地別では、中国が9件、ベトナムが4件であった。

【主な摘発事例】

事例1【中国来航空貨物】

- 商標権を侵害する衣類34着を摘発

(令和6年7月 東京税関本関摘発)



事例2【中国来国際郵便物】

- 商標権を侵害するバッグ35個を摘発

(令和6年10月 東京外郵便出張所摘発)

